BELLS LETTER

Jun.2022 VOL.039 presented by BELLS
波乗りリフォーム屋の独り言

3年経った素材の変化

今年の４月、５月は例年に比べて雨の日が多いように感じます。このまま梅雨入りかと思わせるような天気が続いていますが、植物にとっては“恵の雨”。新しい葉っぱや芽を出すこの時期にたっぷりの水を吸い込んで自宅の庭木はもちろん、わんこの散歩でまわりを見回しても、どの木々も生き生きしています。　さて 2019 年４月に建った BELLS ハウスも丸３年が経ち、外回り、室内共に仕上げ材の表情にも変化が出始めています。これぞ自然素材の醍醐味“経年美化”！今回は３年経った BELLS ハウスの自然素材の変化をご紹介したいと思います。まずは杉板の外壁。完成時の写真で分かるように材料は杉の赤みを無塗装で貼っています。雨の当たるところ、当たらない所で色の違いはありますが、全体的に赤みが薄くなりグレーがかっているのが分かります。（緑が邪魔で分かりずらいですが・・・）この先 5 年，10 年と月日が経つとさら美しいシルバーグレーへと変化していくでしょう。続いて事務所の外灯と看板文字です。いずれも真鍮で出来ています。真鍮とは銅と亜鉛の合金で、別名「黄銅」とも呼ばれています。5 円玉をイメージすると分かりやすいですね。最初はピカピカの金色をしていますが、徐々に表面が酸化して黒ずんできます。新品の金物を最初からこの状態にする仕上げを古美（ふるび）仕上げと呼ぶように、何ともいい風合いです。ちなみにこの黒ずみは酸化皮膜となって内部を保護するため、全体が腐食するのを防いでくれるんです。

室内に目を向けてみます。リビングの床ですが、ラオス松という無垢フローリングを無塗装で貼っています。オイルやワックスなど一切使っていませんが、新築時と比べると、表面にツヤが出て色も深みが増しています。目を凝らしてよーく見るとワンコのひっかきキズや物を落とした時の穴など無数にありますが、それもあじ。またこれからやってくる梅雨シーズンもこの床板が湿気を吸ってくれるのでいつもサラサラ。見た目にも身体にもやさしい健康素材です。最後に玄関土間のモルタル仕上げです。モルタルとは砂とセメントに水を加えて練った建築材料です。通常は下地材として使う事がほとんどで、この上に塗装したりタイを貼ったりしますが、BELLS ハウスでは１階の外壁、室内の床や壁のあちこちに写真のようなモルタル素地を仕上げとして採用しています。写真では分かりずらいですが、細かなクラックが薄っすら入っってきましたが建物に悪影響を及ぼす程ではありません。また新築時に比べて水分が抜けたのか色も落ち着いてきてイイ感じになってきました。　いかがでしたでしょうか。新建材と呼ばれる人口建材で出来たお家は完成した時が一番きれいで 100%。その後、時間の経過と共に 90%、80%と劣化していきます。

ところが自然素材で出来たお家は完成した時点を 100%とすればその後 110%、120%と時間の経過と共にさらに味

わいが増し、それと同様にお家の愛着も増していきます。ベルズではこれからもこんな自然素材の価値観を少しでも多くの方々に伝えていきたいと思います！

神奈川県の灯台

こんにちは三宅です。今回は『灯台』について語っていきたいと思います。以前ある建築雑誌で“家族の灯台”（藤野高志氏:生物建築舎）という住宅を見ました。その住宅がまた面白いのですが、唐突に「そういえば灯台ってマジマジと見たことないなあ」と思いました。灯台って運転中や旅行先で見かけることはありますがじっくり見ることはまずないですよね。気になって調べてみると神奈川県内にもおもしろい灯台がいくつもありました。よろしければお出かけついでに気を向けていただければと思い、この場を借りて神奈川県の灯台を５つご紹介したいと思います。　海上保安庁では地方自治体などと連携し、地方の観光資源・特産品などをモチーフとしたシンボルを灯台に付与するなど「航路標識のデザイン化」に取り組んでいます。神奈川県内の灯台では右記の３つがいかにもデザイン灯台です。地域の特徴を出してますね。

〇デザイン灯台（葉山・大磯・小田原）

〇登れる灯台（観音崎）

中を登れる灯台は全国で 16 基しかないのですが、そのうちの１つが神奈川県の観音崎灯台です。観音埼灯台は日本最初の洋式灯台として、1868 年 11 月 1 日に起工、同年 2 月 10 日に竣工、1869 年 2 月 11 日に初めて点灯しました。 この灯台の起工日の 11 月 1 日はのちに「灯台記念日」となりました。中では灯台のランプが見られます！

〇異国風（安房埼灯台）

最後にご紹介するのは三浦半島の先端にある城ヶ島の安房崎灯台です。老朽化から 2020 年 3 月にリニューアルしたばかりの灯台です。安房国（あわのくに）と呼ばれた南房総を見渡せるということで名付けられました。えんぴつ型でどこかメルヘンチックで可愛らしいです。城ヶ島は自然が豊かでウォーキングに最適ですよ！　神奈川県の灯台を５つご紹介してきました。最後の安房崎灯台がある城ヶ島は、子どもの頃からしょっちゅう遊びに行っていた場所なので思い入れがありますね。島を一周するとまあまあ良い運動になるので、みなさんもぜひ遊びに行ってください！

中国の住宅事情

はじめまして。天内です。新入りです。といっても人間はかなり年季が入ってますが…　海外での仕事が長かった関係で、最近の国内事情を勉強しつつ日々奮闘しています。 今回はそんな私が見聞きしてきた、中国の住まい事情などを少しご紹介しようと思います。

〇中国の住宅事情

現在、どんどん近代化している中国。もはや近代を通り越して未来的でもあります。 それは生活様式のみならず、建築や住宅もまた大きく変化し続けています。 現在、中国の政策では個人の土地所有は認められておらず、それにより戸建て住宅は個人で建てることはできません。と、いうことで一般市民の住まいはディベロッパーが建てたマンション購入がメインとなります。

〇中国のマンションはただのコンクリート箱？
中国のマンション販売において日本と最も大きな違いは、基本スケルトン販売であるということ。そうです、内装はされていません。ただのコンクリート剥き出し空間です。なので、内装は購入した人が自分自身で施さなければなりません。電気も水道も何もかもです…日本人の私からすると、自分好みのインテリアが新築から実現出来る！と期待値は上がりますが、一般的な中国人の人々からすると、この住宅内装がかなりアタマの痛い悩み。というのも、まずデザインをどうするか？誰に施工してもらうか？材料はどうする？など、初めてづくしに翻弄される事になるんだそうで。

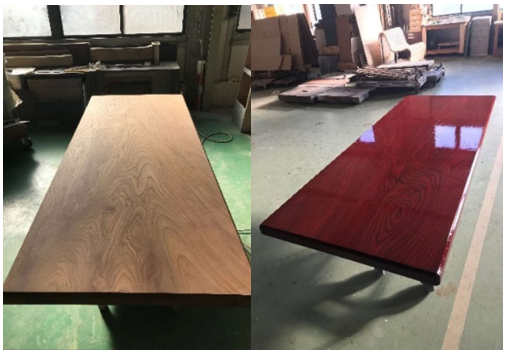
〇中国の住宅業界の昨今
中国では内装インテリアのことを「室内建築」、インテリアデザイナーのことを「室内設計師」と呼びます。お金にシビアな中国市民は、カッコいい住宅にしたいがデザインなど無形のモノにはお金は掛けたくないようで「室内設計師」にはあまり依頼しません。そして友人知人宅などを参考にして「あっちの家のドア」や「知り合いの家のバスルーム」などパーツごとに模倣して作り上げる人も多くいます。当然、家全体のデザインの融合性など見る影もありませんが。残念。と、ここまでが5、6年前の話し。 最近のトレンドはだいぶ変わってきました。一般生活レベルが上がる中、デザインを得意とする室内設計業者が色々なコンセプトで住宅を提供しはじめ、現在ではそういったワンストップで住空間を提供するプロに、内装から家具、調度品に至るまで依頼するまでになりました。また、日本のダイワハウスなどは日本式の内装付きマンション（日本ではあたりまえ）の開発を手掛け、面倒ごとを避けたい富裕層に人気となっています。

〇「匠」が人気？
某TV局のリノベーション番組「劇的ビフォアアフター」、日本ではもう何年も前に人気を博し「匠（たくみ)」というキーワードも一般的となりました。中国で住宅設計を依頼された時、あるお宅で私もこの「匠」の洗礼を受けたことがあります。依頼主さんに言わせると「同じ日本人」だから、TVの「匠」のようなびっくりするようなギミックを色々考えてくれ、と。「日本人」はそういうの得意だろ？と。う～ん、確かに私日本人ですけど。でもですよ、アレは狭い日本家屋のなかで、無駄な空間や未利用のすき間を収納や可動する造作家具などで上手く作り上げるから醍醐味があり利便性もあり、なわけで、なにも「320㎡4LDK３バスルーム.天井高3.5m」のなかに、可動二段ベッドロフト付きなんて要らないと思うんですけど…どこの国でもTVの影響って大きいなぁーと、ひとしきり感心したことを憶えています。ちなみに「ビフォアアフター」はネットで見られるそうです。どうなってんでしょうね、版権。

はじめまして、塩谷です！

はじめまして。４月よりベルズに入社しました、塩谷（しおや）と申します。
茅ヶ崎在住２児の父でございます。以前は小田原のとある木工所で勤務しておりました。少しだけ当時の仕事についてお話させてください。簡単に言えばオーダーメイドの家具屋です。その中でも一般家庭向けではなく、店舗やオフィスといった商業施設向けの仕事が多い会社でした。社内で分業し、私は塗装業務をメインで担っていました。家庭向けと何が違うかといいますと、家具の大きさ、物量の多さでしょうか。「2メートルの天板４連結を２セット。あっちとこっちで色のムラが無いように、段差が無いようにお願いします。」「棚板２００枚、指定色と同じ仕上がりでよろしく。」こういった内容が多いです。そんな中、極稀にですが一枚板で天板を仕上げるまさに一点ものを仕上げる仕事を頂く事がありました。

一番印象深い仕事がこちらの欅天板。



欅は日本を代表する広葉樹として知られ、北海道を除き全国的に分布し、街路樹や神社でも見られる馴染み深い木です。紅葉も美しく四季を感じさせる美しい木だと思います。神奈川ですと秦野は鶴巻に大ケヤキがあるそうです。日本で一番大きいものだと山形県東根市の東根小学校の校庭にある欅だそうで、幹の周囲が15.7mにも及ぶそうです。樹齢は1000年とも1500年とも呼ばれているとか。。材料としても優秀で、硬く摩耗に強く、心材が腐朽しにくい特徴を持っています。昔は槻（ツキ）と呼ばれていたそうで、ベルズの番犬ツキと同じ名前ですね。磨くと美しく光ることから家具に利用されたり、食器になったりと日本の生活に溶け込んでいる欅ですが、その美しい木目とは裏腹に、杉など柔らかい木を切る為のノコギリでは刃が欠けてしまうほど頑強であり、また材の暴れ、伸び縮みなどの狂いが起きやすいそうです。欅材をお求めの場合は業者さんとよく打ち合わせをして、含水率に気を使うなど、十分に乾燥が行われている事に留意する必要があるそうです。

当時の仕事の話がいつの間にか欅の話になってしまいました。少し自己紹介をさせて頂くと、私は息抜きに音楽を聴いたり音楽で遊ぶ事が好きです。なかでも一昔前の音楽を掘り起こす作業が好きです。両親から唯一受け継いだレコードである荒井由実のＣＯＢＡＬＴ ＨＯＵＲから「雨のステイション」を６月の長い梅雨、部屋で過ごすコーヒタイムにお勧めして締めくくらせて頂きます。お付き合い頂きありがとうございました。

Bells Kitchen

落葉樹の葉も生えそろい、新緑の気持ちのいい季節です。このベルズレターが皆様のお手元に届く頃には梅雨入りしているかもしれませんね。ご存じの通り我が家にはワンコが2匹おりまして、雨が降っていても朝夕と散歩に出ます。本降りの時は近所をぐるっと気分転換程度の散歩となりますが、それでも草むらの中も躊躇なく突進するので私の足元もびしゃびしゃになります。そこで昨年出会った優れもの“ゴアテックスニーカー”。防水透湿素材で出来ているので軽やかなスニーカーなのに雨がしみこんでくる事がなく快適なのです。雨の日の通勤通学はもちろん、ぬかるんだ山道を歩くハイキングなどに最適ですね。雨の季節を目前に是非チェックしてみて下さい！　さて今回のBells Kitchenは番外編！うちのツキとロクも大好きなワンコも食べられるおやつ、“鶏ムネジャーキー”です！少し手間がかかりますが、売っているものよりも美味しく、そして人のおつまみにもなります(笑)！我が家では人がかなり食べているので、あっという間に無くなります(涙)･･･鶏ムネ肉 2枚でたっぷり出来るので、容器に入れて冷蔵庫で保存して下さいねー。

作り方

鶏ムネ肉を繊維に沿って出来るだけ薄く切る。(削ぐ様なイメージ)

オーブンシートなどを敷いた天板に重ならないように並べる。フライパン用アルミホイルがベスト！

100°のオーブンで40分焼く。ひっくり返してもう一度100°で40分焼く。

粗熱が取れるまでオーブンの中に入れたままにしておく。こうするとカリカリなジャーキーに！

出来上がり～

編集後記

今回の BELLS LETTER いかがでしたでしょうか？何だかちょっと賑やかになった？そうなんです！ベルズに新たに２人の仲間が増えました！現場と設計それぞれ一人ずつの増員です！新店舗に移転してから４年目に突入し、更なるサーの向上を目指してパワーアップです！2022年、新生ベルズをよろしくお願いいたします！次回は９月発行予定です。お楽しみに！